



だいすき! SAKAHOGI



CS  
新聞

## 「ふるさと・坂祝学習」真っ最中

### 【令和5年度第3回小中学校運営協議会】



3月1日(金)に今年度最後の運営協議会がありました。会の前には6年生の美しい歌声の合唱が披露され、来校者たちは静かに聞きっていました。

運営協議会では小中学校の校長から、今年度の学校経営の成果と課題の説明があり、

その後意見交流がされました。

《小学校》「自分たちで」と「だいすき坂祝」を合言葉に経営をしてきた。卒業を前に6年生が自主的にあいさつ活動を行い、1年生など下級生にまで広まりをみせてきた。

《中学校》「たくましさ自立心を身につけるための体験と出会い」の活動を仕組んできた。来年度は「よさをつくって発信」「堂々と語り歌う」「誇れる合唱」「誇りを表現」を目指す。

《意見交流》

- ・活気がある子が多くてすごい。こうした子どもたちと交流できることは大人も役に立つ。
- ・国際教室に応援に行っているが、教室に行くまでに必ずあいさつを交わしてくれる。帰り道でも子どもたちから話しかけてくれる。顔見知りになることの大切さを感じている。
- ・講座は、家ではできないことを体験できてよい。
- ・他の地区では、部活動のクラブ化について話し合いすらできていないところがあるが、坂祝町ではスムーズに進んでいる。

### 【令和5年度第3回 地域・園・学校協働活動】

地域・園・学校協働本部では、3つの委員会に分かれて今年度の成果と課題を中心に話し合いがされました。

#### ふるさと・絆委員会

町中にあいさつの輪が広がることでみんなが顔見知りになることを願い、これからもじっくりと「あいさつ運動」を広めていきたい。



#### 地域・スポーツ委員会

スポーツを通して学校や子どもとの関わりを模索してきた。今後、夏休みに行ったキッズに通う児童に対してのレクを地域スポーツ委員会としてより充実した活動にしていきたい。



#### 多文化共生委員会

放課後学習、取り出し指導で教科学習の支援、幼稚園には生活の支援ができた。すまいるひろばで日本文化のよさを伝授できた。



**【小学校】 ◆家庭科ボランティア**

5年生は2月からエプロン制作を始めました。今回も松田富子さん（大針）と永田郁子さん（取組）にボランティアをお願いできました。子どもたちは初めてのミシンとあって、ミシンの調子が悪くてとまどうこともありました。先生のご指導やボランティアの先生方のご支援を受けて仕上げることができました。

**【幼稚園】 ◆あいさつ活動**

幼稚園では、毎月、有志の保護者が子どもたちの登園を待ってあいさつ活動を行っています。3月13日（水）はコミュニティ・スクールで地域・スポーツ委員長である菅沼誠司さんも参加をしてくださいました。園児たちは、一人一人の方々とハイタッチをしながら元気にあいさつを交わしていました。

**【公民館まつり】 ◆中学生ボランティア参加**

3月9（土）・10日（日）に公民館まつりが行われました。事前に中学生にボランティアの募集をかけたところ、14名の参加が得られました。

中学生ボランティアは当日、ステージ発表の司会、軽スポーツのアシスタント、パン販売のお手伝いなどいろいろな面で活躍をしました。地域から日ごろお世話になっている子ども達ですが、地域の役に立つ姿からは頼もしさが感じられました。

**【小学校】 ◆3年生と6年生が郷土資料館の見学**

4月に正式に開館する郷土資料館ですが、3年生は3月13日（水）に、6年生は3月14日（木）に見学に行くことができました。ふるさと会の方々から最初、昔の道具を使った洗濯方法や食事の仕方を聞きました。その後、館内を自由に回って道具の使い方についてお聞きしました。最後に、猿啄城を模した折り紙をプレゼントしてもらいました。



洗濯方法や食事の仕方を聞きました。その後、館内を自由に回って道具の使い方についてお聞きしました。最後に、猿啄城を模した折り紙をプレゼントしてもらいました。

**見学後の感想**

- 昔の人は不便な生活だったけれど、いろいろと考えて今のよう便利にした。昔も今も大事にしたいと思った。
- たくさん道具がありすぎたけど、昔は大変だったことが分かった。
- 昔の人たちは、少しでも便利になるように試行錯誤して工夫しながら生活していることが分かった。